宇美町立宇美東中学校 沿革史

1986年 (昭和61年) 初代校長 中野博文 赴任 4 宇美町立宇美中学校より分離し、開校(学級数18、生徒数758) 10 青少年赤十字へ全員加盟 2 校歌発表(作詞 椎窓 猛 作曲 中山洋子) 6 福岡県社会福祉協議会奉仕活動指定校(3カ年) 青少年赤十字研究推進校委嘱校(3力年) 糟屋郡地教委連絡協議会研究指定校委嘱校(3力年) 4 初任者研究制度施行校 1988年 (昭和63年) 1989年 (平成元年) 10 研究指定発表会 「気づき、考え、実行する生徒を育てるための生徒指導の研究」 6 福祉協力校として厚生大臣賞受賞 1990年(平成2年) 5 租税教育推進校として委嘱 11 全国生徒指導推進会議生徒発表 1991年 (平成3年) 二代目校長 池田 正臣 赴任 1993年 (平成5年) 4 糟屋郡地教委連絡協議会研究指定委嘱(3か年) 「一人ひとりが目的意識をもって意欲的に学習する生徒の育成」 1994年 (平成6年) 第三代校長 幸田 真一 赴任 1995年 (平成7年) 11 日本赤十字社福岡県支部·福岡県少年赤十字研究推進校発表会 4 粕屋郡区地教委連絡協議会研究指定移植(3か年) 1996年 (平成8年) 「一人ひとりが目的意識をもって意欲的に学習する生徒の育成」 1998年 (平成10年) 第四代 校長 安尾 久夫 赴任 2000年 (平成12年) 第五代 校長 古賀 幹愛 赴任 10 第8回糟屋区学校健康教育研究大会発表 主題「心身ともに健康で活力ある生活を営む健康教育」 2004年 (平成16年) 第六代 校長 髙木 和敏 赴任 2007年 (平成19年) 第七代 校長 山田 恒夫 赴任 2008年 (平成20年) 3 全日本アンサンブルコンテスト金賞受賞 8 放送部全国大会出場 2009年 (平成21年) 2010年 (平成22年) 第八代 校長 長 信宏 赴任 8 放送部全国大会出場 10 吹奏楽コンクール全国大会出場 2011年 (平成23年) 4 日本赤十字社福岡県支部·福岡県少年赤十字研究推進委嘱 8 放送部全国大会出場 テレビ制作部門 8 NHK全国中学生放送コンテスト出場 2012年 (平成24年) 2013年 (平成25年) 第九代 校長 影木 繁 赴任 8 NHK全国中学生放送コンテスト出場 11 福岡県青少年赤十字研究推進校研究発表会 「『共に生きる』を実践する教育活動」 2014年 (平成26年) 8 吹奏楽コンクール九州大会金賞 NHK杯全国中学校放送コンテスト出場 2015年(平成27年) 8 吹奏楽コンクール県大会銀賞 NHK杯全国中学校放送コンテスト テレビ番組部門優良賞・ラジオ部門優秀賞 2016年 (平成28年) 10 糟屋区地教連研究指定·委嘱 研究発表会 主題「志をもって自分らしく生きる生徒の育成」 第一〇代 校長 山邉 孝之 赴任 2017年 (平成29年) 4 福岡県学力向上拠点校指定事業 研究指定校(3力年) 2018年 (平成30年) 第十一代 校長 鳥羽 和穀 赴任 2019年 (平成31年) 4 福岡県学力向上拠点校指定事業 研究指定校2年目(研究·発表会) 研究主題「教科等横断的な視点に立った資質・能力をはぐくむ学習づくり」 (今和元年) 5 「令和」に改元 7 JRC※着衣水泳、心肺蘇生法(1年生)実施 10 福岡県学力向上拠点校指定事業 研究指定校3年目(公開授業·最終報告会) 2020年 (今和2年) 3 全国一斉臨時休業(新型コロナ感染症対策)3.2~5.19 5 分散登校にて、学校再開 5.20~6.3 10 通常登校にて、学校再開 2021年 (令和3年) 第十二代 校長 井上 泰彰 赴任 6 宇美町町民憲章アンケート 2022年 (令和4年) 5 体育会実施(規模を縮小) 7 宇美町人権啓発講座(生徒会参加)7.5 9.1

10 3年ぶりに合唱コンクール実施

2023年 (今和5年)

10 字美町町民憲章記念碑除幕式(生徒会長·放送部)

12 第36期生徒会役員による「宇美東中キャラクター」の作成

4 福岡県学力向上拠点校指定事業 研究指定校(3力年)

令和5年度 協同



若あ世空 わ心若た筑 きゆ紀か れは きか 英むあけ 協同 力 知 真!ら 理び 理とた光 わの た想 ろ風 のな ħ のき 泉まわ 旗大流を地を や道進 のを しき か を 2 な問とに 力あに 英い 美 3

心

は

創

む

0

学校

われはきる郡に 自瞳かか映 清楚望むる わの n 列5の 気の b 瞳 雲 脈紅 0 を 2 あに 宇美東 た

宇美東中学校 校歌 作作曲詞 中山洋子 猛

美町立宇美東中

〒811-2124 福岡県糟屋郡宇美町若草二丁目1-1

TEL:092-933-2500 Fax:092-933-2531

学校HP:https://www.town.umi.lg.jp/site/umihigashijs/



令 和 5 年 度 生 徒 数 _{R5.4.12}			
	1年	2年	3年
1組	37(2)	37(3)	33(3)
2組	37(4)	38(4)	33(2)
3組	37(3)	37(3)	33(2)
合計	111(9)	112(10)	99(7)

全生徒数 322(26)

※特別支援学級

わかすぎ3学級、ひまわり2学級、わかば1学級 ※上記()は、特別支援学級生徒の内数

生徒会				
評議員会	学習委員会			
生活委員会	整美委員会			
 保健委員会	図書委員会			

部 活 動			
野球部	サッカー部		
男子ソフトテニス部	女子ソフトテニス部		
男子バスケットボール部	女子バレーボール部		
女子卓球部	吹奏楽部		
美術部	放送部		

【社会体育】 柔道・水泳・陸上 バドミントン・新体操・空手道等

学校の教育目標

自ら気づき考え(自主)、新たな関係(協同)やよりよい未来(創造)をつくる生徒の育成

【めざす学校像】

〇生徒一人一人が大切にされ、生徒の資質能力を 向上させることができる学校 (白主) 〇学校・保護者・地域がそれぞれの役割を果たし、 課題解決に向け連携協働し共に伸びる学校 (協同)

〇生徒の自己実現のために困難を乗越える生徒を 育てることができる学校 (創造)

【めざす生徒像】

○自ら学習に取り組み、考え判断し行動すること ができる生徒 (白主) 〇自他の人権と互いのよさを認め合うと共に社会

性を高めることができる生徒 〇ふるさと宇美を愛し、自己実現に向けて努力し、 社会に貢献できる生徒

(創造)

【めざす教師像】

生徒を鍛え・誉め・伸ばす」ことができる教師

(自主) ○教育目標の具現化に向け、組織の一員として協 力・協働できる教師 〇物事を多面的・多角的に捉え、同じベクトルで

教育活動を行い危機に対応できる教師(創造)

重点目標 社会性を身につけ自己実現できる生徒の育成 ~「学力」「自尊感情」「体力」の向上~

<方策Ⅰ>

確かな学力を育成する 「授業改善」

- ・QUアンケートをもとにし た学習意欲の向上
- 『東中スタイル』の徹底と 浸透および確実な実践・特 別支援教育の視点を生かし たユニバーサルデザインの 授業展開

<方策2>

自尊感情を高め共感的人間 関係のある集団づくり

- ・自治的な生徒会活動の活性 化(社会性の向上)
- ・いじめ、不登校の未然防止 や人権感覚を養う特別支援 教育・人権教育の推進
- ・学校行事と関連させた生き た道徳・学級活動の計画的 実施および体験活動の充実
- ・道徳的実践力を育むための 全教育活動における道徳教 育の推進(心の育成)

<方策3> 組織マネジメントの充実

- ・運営委員会を中心として、 各種委員会・会議の系統 化・合理化の推進
- ・ミドルアップダウンマネジ メントが機能する校務分堂 の工夫
- ・いじめ、不登校、生徒指導 の諸問題に対する組織的対 応の推進

<方策4> 実効性のある職員研修の充実

・教師の指導力向上を目指し た校内OJTの推進

- ・指導力向上のためにキャリ アアップ講座、教科等研、 サークル研への参加奨励
- ・全職員年 | 回の公開授業の 実施

<方策5> 学校の特色化を図るカリキュ ラムマネジメントの推進

- PDCAサイクルに基づい た年間活動計画の明確化と 確実な実施
- ・小中連携による系統性のあ る学習規律の確立
- ・教職員の質の向上を図る授 業改善の推進

自主の姿



協同の姿

創造の姿



